

人工股関節全置換術における人工関節設置精度及び術後成績の検討

1. 研究の対象

2019年4月1日から2024年3月31日までに当院において人工股関節全置換術を施行した方のうち、質問紙の記入およびX線・CT検査を行った方

2. 研究目的・方法

人工股関節全置換術の成績に影響を及ぼす重要な要因の1つに、人工関節の設置角度が挙げられます。人工関節の設置角度異常は、術後人工関節の脱臼や初期固定力低下に及ぼす可能性や、長期的には再置換術が必要となる場合もあります。近年、ナビゲーションシステムの普及や手術手技の向上により、人工関節の設置精度は向上しているといわれています。そこで当院における人工関節設置精度や術後成績について検証を行いたいと思えます。

術後の人工関節設置角度及び目標角度との差に関しては、術前後の股関節レントゲン写真やCTデータを用い、専用ソフトにて、人工関節の設置角度を計測し、目標角度との差を算出します。術後の臨床成績に関しては術前及び術後1～5年での術後定期受診の際の診察所見や記入していただいた質問票の記載データを参照し、これらのデータより、人工関節設置精度が術後成績に与える影響を検討します。

研究期間：倫理委員会承認日～2025年3月31日

3. 研究に用いる情報の種類

外来診察時に聴取した質問紙のデータおよび撮像したX線・CT画像データ

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：088-880-2386

高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部附属病院 整形外科学教室 岡上 裕介